

【高等部の学習の様子④】

ICT機器を活用した、

「情報科の資質・能力」「情報活用能力」育成シリーズ③

職業の時間（5月20日、5月27日）に、シャープ特選工業株式会社のオンライン出前授業カリキュラム「働くことの意義」（5月20日）「働く先輩から学ぶ」（5月27日）を活用しました。

「働くことの意義」では、「仕事を進めるために大切な力（①健康管理、日常生活管理、②対人スキル、③基本的労働習慣、④職業適性）」を学校生活での場面と関連させて分かりやすく学ぶことができました。生徒からは、「仲の良い友だちだけでなく、苦手な人などでも、いつでもよい信頼関係を持てるようにする。」等、対人スキルを学んだ後に、自分が取り組んでいくことを考えていました。



「働く先輩から学ぶ」では、実際に働いている先輩の話（VTR）から、「仕事は楽しい。理由は人と接することができるから。」「自分自身が強くなる努力も必要。」等、よく聞いて学ぶ様子が見られました。授業の振り返りでは、「仕事をする時、自分がやることを把握すると仕事が早く終わるので、これからは僕も先輩みたいに作業をしたいです。」「先輩は遅刻もしない、休まないことがすごいと思いました。」とそれぞれの生徒が働くことについて考え、「職業科」の内容を深める時間となりました。



また、今回は、通信技術を活用した双方向のコミュニケーションをしながら「職業科」の学びを深めることができました。コロナ等の影響もまだありますが、今回のようにICT技術を活用し、今後も外部とつながりながら、積極的に自分の考えを広げていく機会を確保していきたいと思っています。

